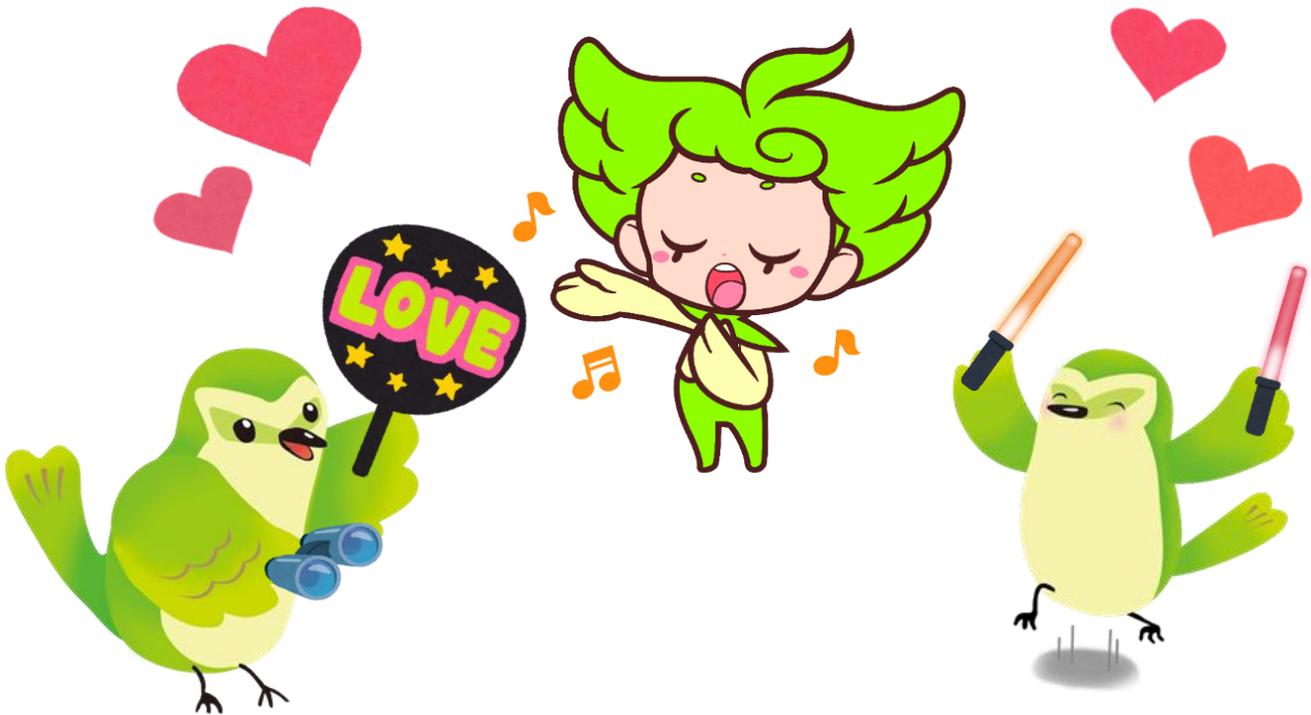


高校生／ティーンズの“推し本”



7月1日～9月14日の間、県内の高校生／ティーンズの皆さんのおすすめ本“推し本”を募集したところ、たくさんの応募がありました。
ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

昨年に引き続き推された本もあれば、今回新たに推された本もあり、多様なジャンルの“推し本”が集まりました。

色々な人の紹介文や推しコメントを見れば、あなたの読みたい本もきっと見つかります！

令和4年10月27日
福岡県立図書館

～凡例～

推された
図書画像です



『エモい古語辞典』 堀越 英美／著，海島 千本／イラスト 朝日出版社

『書名』 著者・編者・訳者 出版者 を記しています。
同名の著書が複数あった場合は、福岡県立図書館が
所蔵し、かつ、貸出ができるものを記載しています。

なお、こちらをクリックすると、現在の貸出状況等を確認でき、
[パーソナルサービス](#)より予約をすることもできます

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

綺麗な風景を見た時、素敵な音楽を聴いたとき、推しの尊さを語るとき……。
ごく当たり前のように日常で使っている「エモい」という言葉ですが、この本を
読んで「もしかして、古語って凄くエモいのでは!？」と気づかされました。

日本語ならではの美しい響きや読み方。今までは「エモい」、古語で言うならば
「あはれ」で表現していたものも、この本を読んでみることで違った表現ができる
かもしれません。(投稿：来世はきっとイルカさん)

おすすめコメントや投稿者のペンネームを記しています。
なお、明らかな誤字脱字は修正していますが、
原則として投稿されたままの文章を掲載しています。

目次

表紙.....	1
凡例.....	2
目次.....	3
～押し本紹介～.....	5
あ行	
『英語化は愚民化 日本の国力が地に落ちる』施 光恒／著 集英社.....	5
『英単語の語源図鑑』	
すずき ひろし／著, 清水 建二／著, 本間 昭文／イラスト かんき出版.....	6
『N』道尾 秀介／著 集英社.....	7
『オー！ファーザー』伊坂 幸太郎／著 新潮社.....	8
か行	
『神去なあなあ日常』三浦 しをん／著 徳間書店.....	9
『君の臍臓をたべたい』住野 よる／著 双葉社.....	10
『蜘蛛ですが、なにか？』馬場 翁／著, 輝竜 司／イラスト KADOKAWA.....	11
『クローバー・ナイト』辻村 深月／著 光文社.....	12
『影との戦い』清水 真砂子／訳, ル=グウィン／作 岩波書店 ゲド戦記 1.....	13
『ここはボツコニアン』宮部 みゆき／著 集英社.....	14
『珈琲店タレーランの事件簿』岡崎 琢磨／著 宝島社.....	15
『5分後に意外な結末』学研教育出版, 学研マーケティング(発売).....	16
さ行	
『さくらいろの季節』蒼沼 洋人／著 ポプラ社.....	17
『左近の桜』長野 まゆみ／著 角川書店, 角川グループパブリッシング(発売).....	18
『ショートショート of 広場 2』星 新一／編 講談社.....	19
『スモールワールズ』一穂 ミチ／著 講談社.....	20
『晴天の迷いクジラ』窪 美澄／[著] 新潮社.....	21
『世界から猫が消えたなら』川村 元気／著 マガジンハウス.....	21
『ソードアート・オンライン』川原 礫／[著]	
アスキー・メディアワークス, 角川グループパブリッシング(発売).....	22
『空飛び広報室』有川 浩／著 幻冬舎.....	23

た行	
『種をまく人』	ポール・フライシュマン／著，片岡 しのぶ／訳 あすなろ書房..... 24
『時生』	東野 圭吾／[著] 講談社..... 24
『図書館戦争』	有川 浩／著 メディアワークス，角川書店(発売)..... 25
な行	
『なでし子物語』	伊吹 有喜／著 ポプラ社..... 26
は行	
『20歳のソウル』	中井 由梨子／作 小学館..... 27
『羊と鋼の森』	宮下 奈都／著 文藝春秋..... 27
『氷菓』	米沢 穂信／[著] 角川書店..... 28
ま行	
『緑の本』	緑川 聖司／作 ポプラ社..... 29
『村上海賊の娘』	和田 竜／著 新潮社..... 29
『メインテーマは殺人』	山田 蘭／訳 アンソニー・ホロヴィッツ／著 東京創元社..... 30
ら行	
『老人と海』	高見 浩／訳，ハミングウェイ／[著] 新潮社..... 30
未所蔵の本	
『残像に口紅を』	筒井 康隆／著 中央公論社..... 31
『世界を動かすことば ー世界でいちばん貧しい大統領のスピーチー』	
百瀬 しのぶ／作，ちーこ／絵	KADOKAWA..... 31
『Fate/Prototype 蒼銀のフラグメンツ』	
TYPE-MOON／原作，桜井 光／文，中原／イラスト	KADOKAWA..... 32
『幼女戦記』	カルロ・ゼン／著，篠月 しのぶ／画 KADOKAWA..... 32
『夜廻』	日本一ソフトウェア／原作，保坂 歩／著，溝上 侑／イラスト PHP 研究所..... 33
奥付 34

～押し本紹介～



『英語化は愚民化 日本の国力が地に落ちる』施 光恒／著 集英社

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

英語化に踊らされる日本の現状を、根拠を伴う主張で述べられていた。外国語及び海外に興味を持つ人こそ当著書をおすすめしたい。

(投稿：インペリアル山田さん)

福岡県立図書館キャラクターの
ふっきょん です。

[Twitter](#) もやっていますので、
フォローお願いします！





『英単語の語源図鑑』すずき ひろし／著、清水 建二／著、
本間 昭文／イラスト かんき出版

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

この本は、語源を知って語彙を芋づる式に増やせる本です。分かりやすいイラストや例文、類義語で効率的に英単語を覚えることができます。さらに、語源の意味を知って単語を勉強すると語源に関連付けて覚えることができます。そのため、この本で勉強すると一つの単語を覚えるとその単語と一緒に関連する単語も知ることができます。また、語源ごとに単語が分けられているため、関連付けて覚えることができます。ここがこの本で勉強すると一番の利点だと私は考えます。

一度目を通して見るだけでも知識が増える本なので是非読んでみてください。

(投稿：N.Kさん)

※福岡県立図書館では『[英単語の語源図鑑 続](#)』も所蔵しています。

表紙画像は『英単語の語源図鑑 続』のものです。



ふくおか教育月間の
イメージキャラクター
ミライル です！
東京2020
オリンピック・パラリンピック
公式マスコットを制作した
谷口 亮さんのデザインです。



『N』道尾 秀介／著 集英社

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

この本は全部で6章の短編で書かれています。何より、最大のポイントは「どの順番から読んでも物語が成立する」というところです。皆さんも是非この本を手にとって頂き、無数の組み合わせの中から自分だけの物語を楽しんでみて下さい。

(投稿：灰猫すいさん)

収録されている全6編の短編が
推しコメントにもあるように
「どの順番から読んでも物語が成立する」
のが魅力の作品です！
なんと、全720通りの物語を楽しむこと
ができるとか・・・！？





『オー!ファーザー』伊坂 幸太郎／著 新潮社

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

一気に読み必至！面白くスリルのある展開にページをめくる手が止まらなくなりま
す！ 主人公の由紀夫は優れた頭脳と落ち着きのあるどこか大人びた雰囲気の高校
生。そんな由紀夫には周りには言えない秘密があった。

それは自分には父親が4人いるということ。気儘な母親と個性溢れる父親達に育
てられた彼は、他の人とは異なる環境と父親達に様々な事を教わったことから、ど
んな問題にも1人で立ち向かえる絶対的な自信を持っていた。あの時までは。ひょ
んな事からある事件に首を突っ込んだ由紀夫は父親達を巻き込み事件の発端と謎に
迫っていく。その中で由紀夫は社会を知り成長していく。

事件の疾走感のあるスリルとは別にこの可笑しく不思議な親子関係にも注目して
欲しいです！

(投稿：ヨシカズさん)



映画化もされた
伊坂幸太郎さんの作品が
推し本に選ばれました！



『神去ななあ日常』三浦 しをん／著 徳間書店

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

横浜の高校生がひよんなことから神去村という小さな村で林業をすることになる話です。文章は主人公が喋っているようにかいてあり、コミカルで読みやすいです。登場人物が皆魅力的であることや大自然の描写の美しさ、林業に悪戦苦闘しながらの主人公の成長、神去村の独特な世界など、おすすめできるポイントが沢山あります。読む手が止まりませんでした。ちなみに「ななあ」とは神去村の方言です。神去村の人々のおっとりした言葉遣いもまた魅力の一つです。ぜひ読んでみてください。

(投稿：S.Kさん)



映画化もされたお仕事小説！
福岡県立図書館では続編の
『神去ななあ夜話』も
所蔵しています！



『君の膵臓をたべたい』住野 よる／著 双葉社

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

主人公はクラスで目立たない地味な存在。その主人公とは正反対の性格の桜良はクラスの人気者で誰からも愛される存在だった。桜良が膵臓の病気であと少ししか生きられないことを、たまたま知ってしまった主人公は桜良から声をかけられ一緒に過ごす時間が増えていった。そんな二人の関係性が変化していくのが魅力的な物語です！この作品は映画化もされています。そちらも見てみてください！

(投稿：S.Oさん)



昨年に引き続き、
住野よるさんの
『君の膵臓をたべたい』が
推し本に選ばれました！



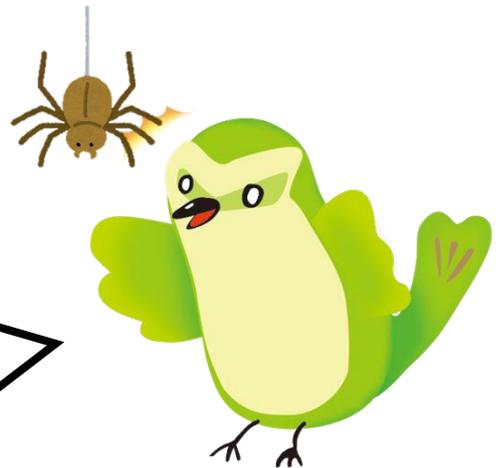
『蜘蛛ですが、なにか?』馬場 翁／著，輝竜 司／イラスト KADOKAWA

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

主人公は、蜘蛛として異世界に転生してしまうのですが、前向きに生きていきます。主人公が異世界でスキルや魔法を駆使していろいろな敵と戦うところがこの物語の魅力的な点です。

(投稿：N.M さん)

TVアニメ化もされた
大人気異世界転生シリーズです！
福岡県立図書館では電子図書館でも
所蔵しています。



『蜘蛛ですが、なにか?』シリーズ (15・16巻は福岡県立図書館のみ所蔵)

『蜘蛛ですが、なにか? 1』

『蜘蛛ですが、なにか? 3』

『蜘蛛ですが、なにか? 5』

『蜘蛛ですが、なにか? 7』

『蜘蛛ですが、なにか? 9』

『蜘蛛ですが、なにか? 11』

『蜘蛛ですが、なにか? 13』

『蜘蛛ですが、なにか? Ex』

『蜘蛛ですが、なにか? 16』

『蜘蛛ですが、なにか? 2』

『蜘蛛ですが、なにか? 4』

『蜘蛛ですが、なにか? 6』

『蜘蛛ですが、なにか? 8』

『蜘蛛ですが、なにか? 10』

『蜘蛛ですが、なにか? 12』

『蜘蛛ですが、なにか? 14』

『蜘蛛ですが、なにか? 15』



『クローバー・ナイト』 辻村 深月／著 光文社

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

この作品は、四つ葉のクローバーが4人の家族を表していて、その家族4人に関わるママ友や、子供の友人、父親など、様々な悩みを抱える人達の悩みを解決したり、謎を解いて別の家族のことから自分の家族のことまで幸せにしていくストーリーです。全部で4つの問題を解決し、時には浮気調査も!?浮気の末にその家族がどうなるのかについても結末を予想しながら、楽しんでください。中心となる家庭に訪れる危機にも直面します。家族×ミステリーのハートフル小説!

(投稿: snowyさん)

今回の“推し本”募集にあたり
ご協力していただいた
高校生／ティーンズの皆さん、
ありがとうございました!



[福岡県立図書館HP](#)の
[青少年コーナーのページ](#)には、
[中高生・ティーンズ向けサービス](#)を
[行っている図書館のリンク集](#)や、
[“学び”にかかる資金を支援する](#)
[ためのサイトをまとめた](#)
[進路や就職に役立つリンク集](#)など
皆さんのための情報があります!



『影との戦い』清水 真砂子／訳，ル=グウィン／作
岩波書店 ゲド戦記 1

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

ゲド戦記シリーズ第一作「影との戦い」。まだ未熟な少年ゲドが呼び出してしまった影との長く苦しい戦いを描いた小説。

この小説の魅力的部分は他のファンタジーとは一風変わった魔法や、実際にその世界を体験したような気分になれるほど緻密に描かれた文章です。独特な世界観と圧倒的な文章力は、読めば読むほど読者をその世界に惹き付けられます。

この文を読んで少しでも興味を引かれた方は是非実際に手にとって読んで頂きたい。電子媒体も悪くはないのですが、紙の方が冒険譚を読んでいる気がして気分が高まるので私は紙をオススメします。

(投稿者：M.Hさん)



ジブリ作品の画像は、
スタジオジブリのHP
(<https://www.ghibli.jp/>)
の「画像提供」より、
「常識の範囲で」
使うことができます！



『ここはボツコニアン』 宮部 みゆき／著 集英社

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

作品を作る上で必ずと言っていいほど出てしまう“ボツ”。この本の舞台はそんなボツが集まった世界“ボツコニアン”。枕元にゴムの長靴が現れたピピとピノは長靴の戦士としてボツコニアンを救う旅に出ることに… ボツになってしまったアイデアたちと主人公たちが作りだすぶっ飛んだ物語はとても面白く、クスッと笑える作品です！

(投稿者：Iさん)



宮部みゆきさんが描く
RPGファンタジー！
福岡県立図書館ではシリーズ
全5冊を所蔵しています。

『ここはボツコニアン [1]』

『ここはボツコニアン 2』

『ここはボツコニアン 3』

『ここはボツコニアン 4』

『ここはボツコニアン 5』



[『珈琲店タレーランの事件簿』 岡崎 琢磨／著 宝島社](#)

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

理想の珈琲を追い求める青年アオヤマが京都にある珈琲店「タレーラン」のバリスタ・切間美星と出会い、様々な日常の謎に巻き込まれる物語です。アオヤマの推理を美星が「全然違うと思います」と切り捨てたり、謎が解けたときに「その謎、大変よく挽けました」と決めゼリフを放つのが面白いです。

この本は、第10回「このミステリーがすごい！」大賞の最終選考に残り、第1回京都本大賞を受賞しました。「人が死ぬのはちょっと…」という理由でミステリを避けてきた人でも安心して読める「人の死なないミステリ」です。物語の舞台である京都を実際に歩いてみたくなる、そんな本です。アオヤマと美星の関係がどう変化していくのか注目しながら、コーヒー片手にぜひ読んでみて下さい。

(投稿者：ケロちゃんの友達さん)

福岡県出身の著者が描く
コーヒー×ミステリー！
福岡県立図書館では最新巻の
8巻まで所蔵しています。



- | | |
|---|---|
| <u>『珈琲店タレーランの事件簿 [1]』</u> | <u>『珈琲店タレーランの事件簿 2』</u> |
| <u>『珈琲店タレーランの事件簿 3』</u> | <u>『珈琲店タレーランの事件簿 4』</u> |
| <u>『珈琲店タレーランの事件簿 5』</u> | <u>『珈琲店タレーランの事件簿 6』</u> |
| <u>『珈琲店タレーランの事件簿 7』</u> | <u>『珈琲店タレーランの事件簿 8』</u> |



『5分後に意外な結末』 学研教育出版, 学研マーケティング(発売)

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

・この本は僕が初めて「本ってこんなに面白いものなんだ！」と思うことができた本です。この本のいいところは話が複数あることです。一つの本に五分程度の話がたくさん書かれています。また、字が小さすぎず本が苦手だという人も読みやすくなっています。今まで読んできた中で一番面白いなと思ったの本なのでぜひ読んでみてください。

(投稿者：Syo/JKGさん)

・5分程度で読むことができる作品を集めた短編集作品です。どの話も結末が本当に意外なところがとても面白いです。最後まで結末が分からないドキドキ感もあります。また、一話が短いので小説を読むのが苦手な人にもオススメです。

(投稿者：Y.Oさん)

・一つ一つの話が短く、寝る前などのちょっとした時間に読めるのでおすすめです。(投稿者：パンさん)



『5分後に意外な結末』

シリーズでは電子図書館
にも所蔵しています。

『5分後に意外な結末 1』

『5分後に意外な結末 2』

『5分後に意外な結末 3』

『5分後に意外な結末 4』

『5分後に意外な結末 5』



『さくらいろの季節』 蒼沼 洋人／著 ポプラ社

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

桜色のピンクの表紙に惹かれて読んでみたらいい意味で裏切られました。最初は恋愛系だと思っていましたが12歳という思春期に向き合ったお話しでした。ぶつかり合う少女達の思いがリアルでとても面白かったです。少し過激な言葉が出てきますが少女達の思いが溢れていて良かったです。

このような本はあまり見かけない為すぐ読み終わってしまいました。この本は思春期真っ只中の私にピッタリだと思いました。親友の優希が転校した後クラス内で起きたいじめの中で本当の友情とは何なのかを考えるようなお話です。

(投稿者：なちゅさん)





『左近の桜』 長野 まゆみ／著 角川書店、
角川グループパブリッシング(発売)

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

宿屋の長男である主人公の周りでおこる不思議な出来事が詰まったお話です。妖しい雰囲気文章からも伝わってきて、想像力をかき立てられる美しい作品です。続編もあるので、ぜひ読まれてください！

(投稿者：猫といっしょさん)

『左近の桜』シリーズは、
福岡県立図書館に所蔵があります。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| <u>1 『左近の桜』</u> | <u>2 『咲くや、この花』</u> |
| <u>3 『さくら、うるわし』</u> | <u>4 『その花の名を知らず』</u> |



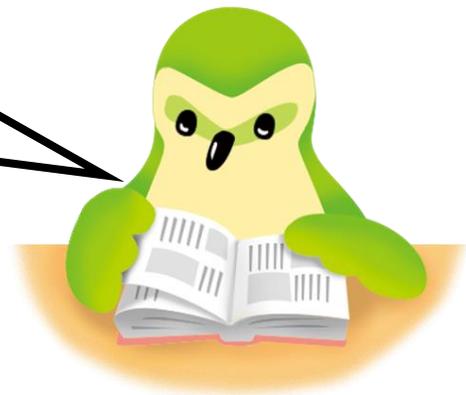
[『ショートショート of the Plaza 2』 星 新一／編 講談社](#)

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

このショートショート of the Plaza という本は 1989 年に初版が出版された古い本です。しかし今の高校生が読んでも全然スッと文章が入ってきます。タイトルの通り短い話をいっぱい詰め込んでいるような本なので 1 話 1 話が 3 分程度で読めて、どれも驚く結末だったり意外な展開だったりする作品です。読んでいて疲れません！皆さんも是非読んでみてください。

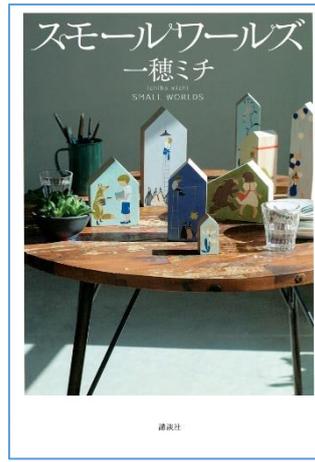
(投稿者：+++邪王炎殺黒龍波+++さん)

「ショートショート of the Plaza」
と呼ばれている
星新一さんが編集した本が
推されました！



星新一さんの「ショート・ショート」を読むなら、
『星新一 YA セレクション』もおすすめです！(全10冊)

- [1 『死体ばんざい』](#)
- [2 『殺し屋ですよ』](#)
- [3 『ゆきとどいた生活』](#)
- [4 『夜の侵入者』](#)
- [5 『あいつが来る』](#)
- [6 『あるスパイの物語』](#)
- [7 『妄想銀行』](#)
- [8 『不毛な地点』](#)
- [9 『きつね小僧』](#)
- [10 『うらめしや』](#)



『スモールワールズ』 一穂 ミチ／著 講談社

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

この本は、6つの短編が収録されています。どのお話も読みごたえがあり、笑えるお話や感動するお話、少しぞっとするお話まで、タイトルどおり「小さな世界（スモールワールズ）」を楽しむことができます。

個人的なおすすめは「魔王の帰還」です。タイトルから怖い話かと思いきや、笑えてほっこりできる作品になっています。作者の他の作品も面白いですが、まずは短編から一穂ワールドを堪能してください。

(投稿者：Y.Aさん)

直木賞候補作にもなった小説！
作者である一穂ミチさんの小説
『パラソルでパラシュート』や
『砂嵐に星屑』も
福岡県立図書館に所蔵しています！





『晴天の迷いクジラ』 窪 美澄/[著] 新潮社

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

前半はかなり重い話が続くのですが、むしろその重いときの人物がネガティブな状況に陥っているときの心理描写に惹かれました。辛めの描写はそこそこあるけどそこを含めてかなり好きな作品です。合う人は合う！

(投稿者：名乗る程の者ではさん)



『世界から猫が消えたなら』 川村 元気/著 マガジンハウス

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

もしもあなたの余命が明日までと告げられた時、世界から何かを消す代わりに1日の命を与えられると言われたら、あなたは世界から何を消しますか？

この物語は脳腫瘍を患った「僕」が自分の寿命を延ばすため、その代償として世界から様々なものを消していく中で、家族の愛情や、友人の大切さ、恋人の優しさなどに気付いていく物語です。生きるとはどういう事なのか考えさせられます。

(投稿者：キュアノスさん)



『ソードアート・オンライン』川原 礫/[著]
アスキー・メディアワークス, 角川グループパブリッシング(発売)

(この本を好きな理由/おすすめポイント)

主人公 桐ヶ谷和人は SAO 事件という茅場晶彦がつくったフルダイブ型のVRゲームでゲーム内で死んだら現実でも死んでしまうデスゲームに閉じ込められてしまう。この物語は、桐ヶ谷和人が可愛い女の子達と協力しながらゲームクリアを目指す最高のハーレム作品です。面白いので是非読んでみてください。

(投稿者：比企谷八幡さん)

昨年引き続き、推された
大人気シリーズ!



[『ソードアート・オンライン 1』](#)
[『ソードアート・オンライン 3』](#)
[『ソードアート・オンライン 5』](#)
[『ソードアート・オンライン 7』](#)
[『ソードアート・オンライン 9』](#)
[『ソードアート・オンライン 11』](#)
[『ソードアート・オンライン 13』](#)
[『ソードアート・オンライン 15』](#)
[『ソードアート・オンライン 17』](#)
[『ソードアート・オンライン 19』](#)
[『ソードアート・オンライン 21』](#)
[『ソードアート・オンライン 23』](#)
[『ソードアート・オンライン 25』](#)

[『ソードアート・オンライン 2』](#)
[『ソードアート・オンライン 4』](#)
[『ソードアート・オンライン 6』](#)
[『ソードアート・オンライン 8』](#)
[『ソードアート・オンライン 10』](#)
[『ソードアート・オンライン 12』](#)
[『ソードアート・オンライン 14』](#)
[『ソードアート・オンライン 16』](#)
[『ソードアート・オンライン 18』](#)
[『ソードアート・オンライン 20』](#)
[『ソードアート・オンライン 22』](#)
[『ソードアート・オンライン 24』](#)
[『ソードアート・オンライン 26』](#)



『空飛ぶ広報室』 有川 浩／著 幻冬舎

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

自衛隊の仕事にはどのような仕事があるかご存知ですか？ 国を守るということ以外に、どのようなものがあるのでしょうか？ この小説は、自衛隊の広報活動する人たちの目線で描かれています。これを読むと、自衛隊の仕事をより深く知ることができます。ドラマにもなるほどの人気があるこの作品です。是非読んでみてください。

(投稿者：もちさん)



自衛隊の小説といえば
有川浩さんの小説！
その他にも有川浩さんの
作品では
『図書館戦争』シリーズ
が推されました！



『種をまく人』 ポール・フライシュマン／著、
片岡 しのぶ／訳 あすなろ書房

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

たった一人の少女が貧民街の空き地にマメの種をまいたことが、やがて大きな畑ブームになっていく。ゴミだらけの空き地に人が集まるようになり、人種を越えた団らんの場所ができていく。『種をまく人』はそんな物語です。13人もの主人公が登場するこの作品を読んで、“きっかけ”の大切さを感じてみてください。

(投稿者：せなたーさん)



『時生』 東野 圭吾／[著] 講談社

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

難病の息子に最後のときが訪れつつあるとき、父、宮本拓実が妻に、不意に思い出した、20年以上前に出会った不思議な少年との思い出を語りはじめた。若い頃は乱暴で粗雑で、どうしようもなく貧乏だった拓実は「トキオ」と名乗る少年と出会う。そして2人は突然姿を消した拓実の恋人千鶴の行方を追うことに。千鶴を追う中で、拓実は自分の無力さを痛感し成長していくが…。千鶴の行方は？ そして2人はどうなってしまうのか。日本の作家東野圭吾のSFファンタジー小説 ぜひ皆さん読んでみてください。

(投稿者：サガランドさん)



『図書館戦争』 有川 浩／著
メディアワークス, 角川書店(発売)

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

主人公の笠原郁は、高校生の時に会った図書隊員である「王子様」を追いかけて、図書隊に入隊する。しかし、そこにいたのは王子様ではなく怖い鬼教官だった。笠原が成長していく姿や鬼教官との関係がとてもおもしろい作品です。

(投稿者：M.K さん)

「図書館戦争」シリーズ
福岡県立図書館に所蔵しています。

- 1 『図書館戦争』
- 2 『図書館内乱』
- 3 『図書館危機』
- 4 『図書館革命』
- 『別冊図書館戦争 1』
- 『別冊図書館戦争 2』





[『なでし子物語』](#) 伊吹 有喜／著 [ポプラ社](#)

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

生きづらさを感じている主人公が、「自立と自律」していく物語です。「自立と自律」については本文中で魅力的に語られているので、意味の違いを確認してみてください。この本には続編の『地の星』『天の花』もあり、続けて読むと更に物語の世界観が楽しめると思います。『犬がいた季節』『雲を紡ぐ』と話題作が続く伊吹有喜先生の実作の中でも特にオススメの一冊です。装画も素敵なので、ぜひ手に取って読んでみてください。

(投稿者：NKさん)

「なでし子物語」シリーズ3冊は
福岡県立図書館に所蔵しています。

また、推しコメント内にて
紹介されている伊吹有喜さんの著書
[『犬がいた季節』](#)、[『雲を紡ぐ』](#)も
所蔵していますよ！



「なでし子物語」シリーズ

[1 『なでし子物語』](#) [2 『地の星』](#) [3 『天の花』](#)



『20歳のソウル』 中井 由梨子／作 小学館

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

自分も一緒に青春できる。死について考えることができる。今を大切に生きることの大切さに気付かされる。

(投稿者：MJさん)



『羊と鋼の森』 宮下 奈都／著 文藝春秋

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

調律とさまざまな人との関わりを通して成長する一人の少年の姿を、丁寧で温かみのある文体で描いています。

(投稿者：あさん)





[『氷菓』 米沢 穂信/\[著\] 角川書店](#)

(この本を好きな理由/おすすめポイント)

「高校生活と言えば薔薇色 薔薇色といえば高校生活」 部活動盛んな神山高校に入学した折木だったが、省エネが信条の彼は部活動に参加せず、「やらなくてもいいことならやらない。やらなければいけないことなら手短に。」をモットーに生活していた。しかし、姉からの命令で古典部に入部することになってしまった。

入部生がおらず廃部寸前だと聞いていた古典部だったが、部室に行くと名門千反田家の一人娘、千反田えるがおり、古典部に入部したという。

部室を出ようと千反田に戸締りを頼む折木に対し、自分はしらぬまに部室に閉じ込められていたと言う。その理由を説明すべく奮闘する。

「古典部」で出会った千反田える、中学時代からの知り合いである伊原摩耶花、福部里志とともに神山高校で起こる事件を解決していく学園ミステリー。

(投稿者：Kさん)

『氷菓』(古典部シリーズ)は
福岡県立図書館に所蔵があります。

- [1 『氷菓』](#)
- [2 『愚者のエンドロール』](#)
- [3 『クドリャフカの順番』](#)
- [4 『遠まわりする雛』](#)
- [5 『ふたりの距離の概算』](#)
- [6 『いまさら翼といわれても』](#)



[『緑の本』 緑川 聖司／作 ポプラ社](#)

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

この本は、主人公碧が習い事のバスケットをする場面から始まります。碧は習い事の合宿先で肝試しをする予定でしたが、雨により百物語に変更されます。その中で一つ話を聞く度に起こるアクシデントが面白い作品です。碧の弟が主人公の『青い本』と連携して読むとさらに面白くなります。ぜひ読んでください。

(投稿者：柊さん)

推しコメントで紹介されている
[『青い本』](#)も福岡県立図書館に
所蔵しています！
あわせてどうぞ！



[『村上海賊の娘 上』 和田 竜／著 新潮社](#)
[『村上海賊の娘 下』 和田 竜／著 新潮社](#)

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

終盤の戦に仲間が加わるときの掛け声が鳥肌

(投稿者：レイヨさん)



『メインテーマは殺人』 山田 蘭／訳 アンソニー・ホロヴィッツ／著
東京創元社

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

この本は私が初めて買った小説です。海外の方が作者なので、日本の小説と違った解釈があり、読んでいてとても面白いです。私がおすすめするポイントは作者自身がワトソン役として本に出ており作者目線でストーリーを楽しめるところです。物語の展開がとても意外な結果で面白いので読んでみてください。

(投稿者：クマさん)



『老人と海』 高見 浩／訳、ヘミングウェイ／[著] 新潮社

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

老漁師「サンチャゴ」は、老漁師を慕う少年「マノーリン」といつも漁へ出ていきましたが、84日間の不漁のため両親からの言いつけでマノーリンは別の舟に乗るようになります。ある日、老漁師は大物を捕まえてみせると、早朝の海に漕ぎ出します。その途中で大きなカジキに出会い闘いはじめますが…… この作品では、自然と闘う人間の姿が描かれています。カジキに対して敬意を抱く老漁師の姿は、命に対する向き合い方を改めて考えさせてくれます。短編小説なのであまり本を読まない方にもおすすめの作品となっています。是非読んでみてください！

(投稿者：Hさん)

せっかく投稿いただいたのですが、
以下の本は残念ながら当館に
所蔵がありません。
県内で所蔵している図書館は
[福岡県立図書館HP](#)より探せます。



『残像に口紅を』 筒井 康隆／著 中央公論社

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

もし、この世界から「言葉」が消えてしまったら……。章が進むごとに、「あ」から「ん」までの五十音の文字がランダムに一つずつ消えて使えなくなっていく。そんな究極の実験的長篇小説です。最後まで話の予想がつかない、ハラハラドキドキの展開の作品です。

(投稿者：M.Tさん)

『世界を動かすことば ー世界でいちばん貧しい大統領のスピーチー』
百瀬 しのぶ／作, ちーこ／絵 KADOKAWA

(この本を好きな理由／おすすめポイント)

南米・ウルグアイの40代大統領、ホセ・ムヒカ氏は古い農場の質素な家で暮らし、持っているお金の大部分を寄付するという、とても国のリーダーとは思えないような人物。その暮らしぶりから、「世界一貧しい大統領」と呼ばれた彼が2012年、世界に向けて語ったスピーチは一体どんなものだったのでしょか。

(投稿者：緑輝さん)

ホセ・ムヒカさんについて
書かれた本は福岡県立図書館でも
所蔵があります。
HPでお探しいただくか、
職員へお尋ねください。



『Fate/Prototype 蒼銀のフラグメンツ』
TYPE-MOON/原作, 桜井 光/文, 中原/イラスト KADOKAWA

(この本を好きな理由/おすすめポイント)

この本は、7人の魔術師と7騎の英霊が契約し、あらゆる願いを叶えると言われる願望機・聖杯を賭けて戦う物語です。それぞれの魔術師の話だったり、英霊の過去の話だったりがとても美しく描かれている本です。

現代×ファンタジーのジャンルが好きな人は是非見てほしいです。

(投稿者：三日月 国永さん)

原作である TYPE-MOON の
那須きのこさんの作品
[『空の境界 \(上\)』](#)と[『空の境界 \(下\)』](#)は
福岡県立図書館に所蔵があります！



『少女戦記』 カルロ・ゼン/著, 篠月 しのぶ/画 KADOKAWA

(この本を好きな理由/おすすめポイント)

この本の主人公は人事課のサラリーマン。このまま彼は順風満帆の人生を送っているはずだった。

ある時彼は、自分がリストラした人間から、電車のホームから落とされたはずだったが、目が覚めたとき彼のそばには老翁がいた。老翁は、なぜ人間は神を信仰しないのかと問う。科学が進歩する世界で追い込まれていない状態では無理だと彼は言う。そうすると老翁はその状況にすれば良いと言う。彼が次目覚めた時彼は、19世紀のドイツのような世界で女の子の赤ちゃんになっていたのだった。

(投稿者：簞さん)

『夜廻』

日本一ソフトウェア／原作，保坂 歩／著，溝上 侑／イラスト PHP 研究所

（この本を好きな理由／おすすめポイント）

※以下、ネタバレを含む可能性がありますので、文字を薄くしています。

この本はゲームが原作のホラー小説で、小学生の少女が主人公です。幼い頃に母を亡くし、父は仕事で家に居らず姉と愛犬のポロと、それなりに幸せな生活をしていました。でもある日事件が起きました。少女がポロと散歩をしていた時にポロがトラックに轢かれて消えてしまい、そこに残ったのは血痕と外側に曲がったガードレールだけでした。少女はそのことを姉に言い、姉は夜の町にポロを探しに行ってしまうました。この本は少女が夜の町に消えたポロと姉を探しに行く物語です。少女が住んでいる町には、夜になると「よまわりさん」という化け物が一人で歩いている子どもを大きな袋に入れてどこかに連れ去ってしまうという噂がありました。少女はそれでも姉とポロを探しに行きました。

少しネタバレになってしまいますが、もう少し詳しく紹介してみます。少女は噂の化け物に会ってしまいます。少女は一生懸命に走って、逃げきりました。でも少女は気付きました。「今の自分には安心できる場所なんてないんだ」と。夜の町にはたくさんの不気味な「ナニカ」が住んでいることを知りました。この後の展開はこの小説を読むか、ゲームをプレイして見てください。この本では少女以外に、ゲームにはなかった姉の視点も書かれていて、少女と姉の視点が徐々にリンクしていく所がとても面白いです。是非、読んでみてください！

（投稿者：S.Eさん）



発行 令和4年10月27日 福岡県立図書館

〒812-8651

福岡市東区箱崎1-41-12

福岡県立図書館 総合サービス室 一般図書班

電話：092-641-1123

FAX：092-641-1127